

かも博美後援会 会報誌 わかば
裾野市議会議員
かも ひろみ
賀茂 博美

No. 39

2020.10



裾野市伊豆島田 230-4
TEL・FAX: 993-1876



第32代 裾野市議会議長に就任！

令和2年9月定例会の最終日に、裾野市議会議長に就任いたしました。

議長という職責の重要さ、責任の大きさを痛感しておりますが、議会を代表する

立場として、中立かつ公平な立場を保ちつつ、しっかりと責務を果たしてまいります。

裾野市議会では、皆さんのご意見を聴く仕組みと議員間議論の充実、政策討論会による市政への提言等、市民の付託に応えられる市議会の活性化に向けて取り組んでまいります。

裾野市はウーブンシティの発表により世界中から注目されるまちとなりましたが、その期待の一方で、財政の危機的状況は変わらず、行政課題は山積しています。裾野市の現状と将来を見据え、市の発展、市民の福祉向上のために全力を尽くす議会運営に努めてまいります。これからも皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。



よく聞かれる質問です。

「議長はどうやって選ばれるの？」



「選考委員会で協議の上、

議員による選挙で決まりました！」

- | | |
|-------------|---------------------|
| 6月中旬 | 正副議長選考委員会の設置 |
| | ・各会派から選考委員の選出 |
| | ・候補者の選定 |
| | ・選考方法についての協議 |
| 8月下旬 | 立候補による選挙にて選出することを決定 |
| 9月24日～9月30日 | 立候補の届出 |
| 10月6日 | 立候補への所信表明 |
| 10月8日 | 議場にて議員による投票による選挙 |



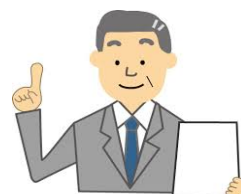
令和2年 9月定例会 代表質問に登壇

既存の規制に囚われない攻めのまちづくりを！



Q. 裾野市が掲げている SDCC 構想への市民の協力はどのようにして理解を得るのか？また、国家戦略特区（スーパーシティ）に頼らない規制緩和の取り組みについて、考えはあるのか？さらに、新産業を誘致していくための事業用地の提供を積極的に行うべきと考えるが、見解を伺う。

A. ウーブンシティを千載一遇の機会と捉え、民間の先端技術による課題解決を推進し、明るい未来に向けて取り組むべきと認識している。現在、SDCC 構想への企業提案の精査に集中しており、事業用地の適地調査も進めている。市民には具現化されたサービスのイメージも提示し SDCC 構想への理解を深めていきたい。



「スマートシティ」、「スーパーシティ」、「ウーブンシティ」、裾野市の「SDCC 構想」ってなんだかよくわからないよ・・・何がどう違うの？



○スマートシティ：都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区。

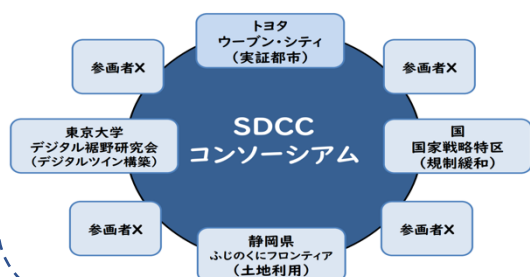
○スーパーシティ：各分野を横断するデータ連携基盤（都市 OS）を軸にして、「まるごと未来都市」の実現を地域と事業者と国が一体となって目指す取り組み。今後、裾野市はスーパーシティの認定を目指します。スーパーシティは技術者や企業の目線ではなく、住民目線でより良い未来を実現しようとする点においてもスマートシティとは一線を画する取り組み。

○ウーブンシティ：2020 年末に閉鎖予定のトヨタ自動車東日本（株）東富士工場の跡地を利用して、将来的に 175 エーカー（約 70.8 万 m²）の範囲に人々の暮らしを支えるあらゆるモノやサービスがつながる実証都市「コネクティッド・シティ」を作り上げるトヨタのプロジェクト。ロボット・AI・自動運転・MaaS・パーソナルモビリティ・スマートホームといった先端技術を入りのリアルな生活環境の中に導入・検証する験都市。



○SSDC（スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ）構想：

裾野市独自の次世代未来型構想であり、「市民生活を豊かにし、市民が生きる喜びを実感できるまちの実現」を構想の理念とし、市民や企業などがデジタル技術やデータの利活用によって、あらゆる分野の地域課題を解決するまちを目指すもの。



国道沿線へ“川の駅”を設置し、福祉保健会館・深良地区までを多世代交流エリアとして整備することを提案する！



Q. 国道沿線へ（仮称）川の駅を設置し観光の拠点、地場産品の販売など交流人口拡大の拠点とし、隣接する福祉保険会館内のデーサービス（廃止予定）跡地を多世代交流拠点へ、深良地区への交通ハブ拠点までを“人と人をつなぐ拠点”として、一体化したゾーンとして整備することを提案する。

- A. 該当地域は景観が良く、公共施設が集積するエリアでもあり、新たな交通インフラの整備により、交流人口増加の可能性を秘めた地域である。しかし、ウーブンの発表により、本市ではSDCC構想に合致するものに優先順位をつけて進める。チャレンジの方向性が変わったこともご理解いただきたい。川の駅構想も素晴らしいが、新規エリア開発としては、他のエリアの優先度の方が高いとの感覚である。



魅力あふれる居住環境の創出を！（公園の整備）



Q. 公園は、子育て世代にとっては、まちの子育て環境の充実の指標として、地域にとってはコミュニティの中心地であり、健康増進、防災対応として活用できる場でもある。公園に必要とされる施設機能（トイレ・駐車場・水場・照明等）のガイドラインを設け、管理方法、財源等について計画的に進めるべきではないか。

- A. 公園は市民のレクリエーションや休息の空間、景観や環境の改善、防災などの機能で、地域で果たす役割も多様であるが、画一的な整備ではなく、公園利用住民の意見を十分に尊重した整備が必要と考える。規模や使われ方、管理方法を踏まえ、必要な施設を選択するため、現在ガイドラインの策定は考えていない。



裾野市議会では、開かれた議会を目指し、議会への理解と関心を高めていただくことを目的に、本会議での市長施政方針や一般質問、代表質問の録画映像配信を行なっています。

『市議会映像配信』にて
議会録画放送！（YouTube 配信）



沼津高専との包括連携協定 締結

この度、母校の沼津高専と裾野市がSDCC構想の具現化に向けた取り組みを実施するため、またそれぞれの人材や知識、機能等の活用を図りながら幅広い分野で相互に協力し合うことを目的に、包括連携協定を連結しました。

学生たちの柔軟な発想にも力を借りながら、お互いに連携しあい、良い関係を築いていくことに期待しています。



沼津高専中村校長

市長より、「中期財政計画(5ヶ年計画)」が発表されました

歳入ですが、市税は今後5年間で、**約10億円から13億円減少**するものと見込んでいます。特に法人市民税については、新型コロナウイルス感染症の影響による企業の業績悪化のため、特に厳しい状況になるものと想定されます。裾野市は、令和3年度以降も**普通交付税の交付団体**となり、交付額は大幅に増えるものと試算していますが、減収分の補てんは見込めない状況です。

歳出については、**扶助費や公債費は伸びていくもの**と見込んでいます。また、今後も新美化センターの新設事業などに多額の財源が必要となるものと推計しています。

行政の継続性を重視しながらソフトランディングによる安定した財政運営を目指し、6.5億円の行財政構造改革などに取り組んでいますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当市の財政は一層厳しい状況になりました。

今後は、**大きな幹と言える事業ごとに、一時停止や延期なども含めた大胆な歳出削減に取り組む必要があり**、その方針を各部長に指示しました。また、事務経費の最適化・効率化を進めるとともに、より一層の財源の確保を職員一丸となって目指す考えです。今後の行財政運営に対しご理解・ご協力をいただけるようお願いします。

編集後記

議長に就任させていただき、これまでにない職務を担わせていただいております。

まだまだ不慣れな議長職ですが、先輩議員・同僚議員のご指導をいただきながら、精一杯努めて参りたいと思います。引き続き、皆様からのご指導もよろしくお願いいたします。

これから寒い日が続きます。新型コロナウイルス感染症と合わせ、インフルエンザ、風邪など、体調を崩しやすい季節です。手洗い、うがい、マスク、消毒等をしっかりと行い、予防に努めていきましょう！

裾野市議会議員 賀茂 博美